

Europe Indicators

発表日:2021年5月26日(水)

欧州経済指標コメント:5月ドイツIfo企業景況感

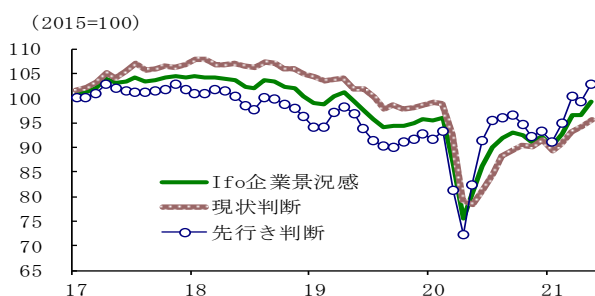
～消費主導の回復が見えてきた～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

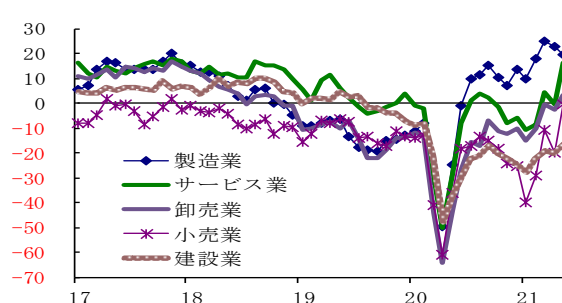
- 25日に発表された5月のドイツのIfo企業景況感(2015年=100の指数)は前月から2.6ポイント改善し、2019年5月以来の水準を回復した。内訳は現状指数が4ヵ月連続で改善したほか、前月に3ヵ月振りに低下した先行き判断が再び増加に転じ、約4年振りの高水準を回復した。
- 業種別の先行きの業況判断(ゼロが好不況の分岐点)は、供給制約などの影響で製造業(前月: +23.0→今月: +19.7)の改善モメンタムがやや鈍化した一方、サービス業(▲0.3→+16.4)が約3年振りの高水準を記録し、卸売業(▲2.3→+3.7)が2018年後半以来のプラス圏に浮上、小売業(▲19.9→▲0.1)もプラス圏浮上の目前まで改善。新型コロナの新規感染者のピークアウトとワクチン接種の加速もあり、行動制限解除に向けた期待が業況改善を後押しした。
- 同日発表された1～3月期のドイツの実質GDP成長率の改定値は前期比▲1.8%と速報値(同▲1.7%)から僅かに下方修正された。新たに公表された需要項目別の内訳は、都市封鎖の再開とVATの時限引き下げ終了で個人消費(同▲5.4%)が大幅に落ち込み、成長率を下押しした。また、輸入(同+3.8%)が輸出(同+1.8%)を上回って増加したことから純輸出寄与度(同▲0.6%ポイント)が成長率を押し下げ、半導体不足の影響もあり設備投資(同▲0.2%)が僅かに落ち込んだ。一方で、悪天候にもかかわらず建設投資(同+1.1%)が増加したほか、政府消費(同+0.2%)と在庫投資寄与度(同+1.4%ポイント)が成長を下支えした。業況判断が示唆する通り、4～6月期には個人消費の回復に牽引され、プラス成長へ復帰する公算が大きい。

■ドイツ: Ifo企業景況感



出所: Ifo

■ドイツ: 業種別の先行きの業況判断



出所: Ifo

■ドイツIfo企業景況感

	2020				2021											
	2Q	3Q	4Q	1Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
企業景況感(総合)	80.8	91.6	92.0	93.2	90.0	91.9	92.9	92.6	91.1	92.3	90.2	92.7	96.7	96.6	99.2	
現状指数	79.7	87.4	90.7	91.0	84.7	88.1	89.4	90.5	90.1	91.5	89.3	90.7	93.1	94.2	95.7	
先行き指数	81.9	96.0	93.3	95.5	95.6	96.0	96.5	94.7	92.1	93.2	91.2	94.8	100.4	99.2	102.9	
業況判断	-23.5	0.2	1.1	3.8	-3.3	1.0	3.0	2.3	-0.8	1.8	-2.7	2.7	11.3	11.3	16.9	
製造業	-33.1	-7.0	4.9	16.6	-13.3	-6.8	-1.0	1.2	4.2	9.4	9.2	16.5	24.0	25.1	25.7	
サービス業	-19.7	5.2	0.3	0.1	1.7	7.3	6.6	3.9	-2.7	-0.2	-4.3	-2.1	6.6	3.5	13.7	
卸売業	-32.3	-6.6	-0.4	0.9	-9.0	-9.4	-1.4	-1.8	-2.4	3.1	-3.7	-1.4	7.7	10.0	16.1	
小売業	-28.2	1.0	-3.0	-26.6	-0.5	1.7	1.9	1.6	-6.1	-4.6	-34.0	-31.6	-14.3	-14.8	-3.4	
建設業	-11.5	0.3	-0.7	-1.9	-2.1	-0.4	3.3	-0.4	-1.0	-0.8	-5.3	-2.9	2.5	0.7	2.8	

出所: Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

